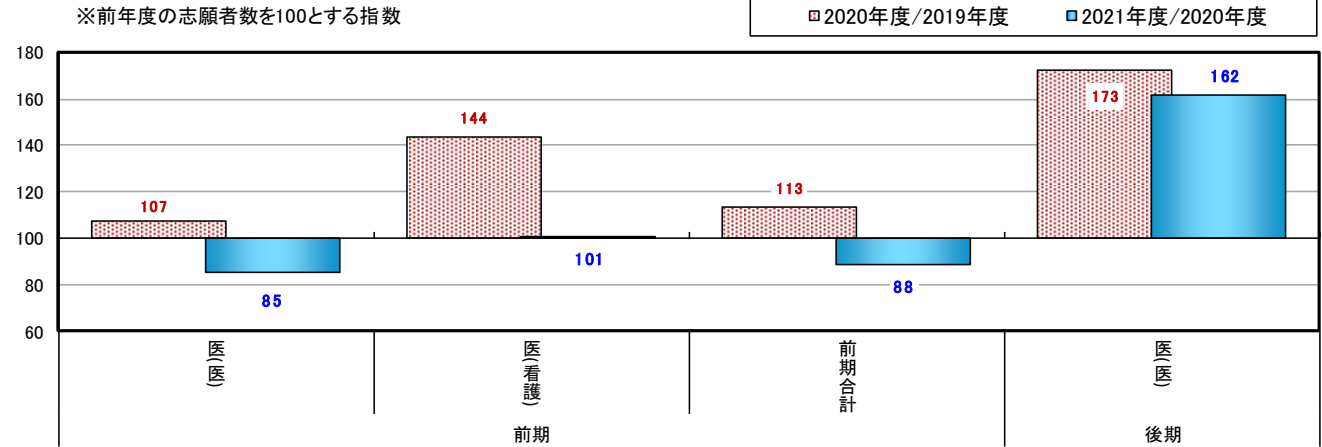


2021 年度入試状況分析【国公立大】

浜松医科大：医(医)は前期大幅減少、後期は2年連続激増 前期：-57人 後期：+136人



入試変更点 募集人員：医(医)…(一般枠)〈前〉66人→64人、〈後〉14人→15人
(地域医療枠)〈前〉9人→11人、〈後〉1人→なし ※地域医療枠〈後〉廃止

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

医(医)は、前期は58人(85)の大幅減少、後期は136人(162)で2年連続激増。前期のみ募集の医(看護)は、1人(101)の微増だが、4年連続増加。

<前期日程>
 ○医(医) (85)は、〈一般枠〉(94)は2年連続減少したが、募集人員も2人減少で、志願倍率は4.7倍→4.6倍と前年度並。志願者数は3年ぶりに300人を下回った。新設2年目の〈地域医療枠〉(51)は、募集人員が2人増加だが半減で、志願倍率も8.6倍→3.5倍にダウン。

<後期日程>
 ○医(医) (162)は、個別試験が小論文と面接なので、共通テストの平均点アップにより共通テストでの逃げ切りを考える受験生に狙われて、2年連続で激増。今年度より〈地域医療枠〉が廃止になったが、存続した〈一般枠〉のみでは(181)と80%以上の激増とさらに高い増加率だった。これにより、志願倍率も14.1倍→23.8倍にアップ。